

「廃材ART展 ARTを、飛行機を、もっと近くに。」羽田空港で開催

2021年12月1日

株式会社JALエンジニアリング(以下、「JALEC」)は、株式会社ヘラルボニー(以下、「ヘラルボニー」)と共に、羽田空港第1ターミナル5F THE HANEDA HOUSEにて、「廃材ART展@羽田空港 ARTを、飛行機を、もっと近くに。」を開催します。



ヘラルボニーは「異彩を、放て。」をミッションに掲げる福祉実験ユニットで、知的障がい者のアートを通じて障がい者の社会進出を進めている企業であり、JALECはW-PIT(*1)の活動において、ヘラルボニーの活動を紹介するオンラインセミナーを通じ、航空機部品廃材とアートを組み合わせた展示を実施する運びとなりました。

非日常である「空港」という場所に、アートが溶け込んだボーイング737-800型機のエンジンファンブレードのオブジェや座って楽しむミニチュアブレードを展示します。また、青森で行われるMISAWA ARTPORT(*2)の先行企画であることから、青森でしか買えないコラボバゲージタグも先行展示します。

本イベントの実施により、JALECの航空機整備で培った加工技術とヘラルボニーのデザイナーのアートという、通常は接点のない2社が融合したアートを展示することで、新たな廃材の利用価値創造と福祉領域の経済循環を目指します。

JALグループは、これからも様々な分野において新たな価値を創造する取り組みにチャレンジしてまいります。

(*1)「W-PIT」

Wakuwakuをキーコンセプトに、異業種共創を通じて新たな価値創造に挑戦するJAL公認の社内ベンチャーチーム。Wakuwaku-Platform Innovation Teamの略。2017年に設立し、JALグループ全体から現在約140名の社員が集う。

W-PIT 公式サイト：<https://wpit-official.themedia.jp/>



(*2)「MISAWA ARTPORT」

2022年1月～3月の期間、三沢空港において、廃材アートに加えてヘラルボニーのアートによる大規模な空港ラッピング、コラボレーション・バゲージタグの販売を予定。ラッピングのデザインの一部は、今回の羽田廃材ART展においてお客さまにて実施する投票で決定する。



3M社が開発した新技術を生かした色彩豊かなデカールをファンブレードに貼り付けています



バゲージタグは、革シートの端材をベースにヘラルボニーの布地を組み合わせています

廃材ART展 概要

- ◆実施日：2021年12月1日(水)～12月9日(木) 10:00～18:00
- ◆実施場所：羽田空港 国内線 第1旅客ターミナル 5F THE HANEDA HOUSE ファーストパティオ
- ◆企画内容
 - ・エンジンブレードオブジェの展示
 - ・ミニチュアブレード展示
 - ・JAL廃材商品/ヘラルボニー商品の展示（販売はオンラインのみ）
 - ・コラボバゲージタグの先行展示
 - ・MISAWA ARTPORTのメインデザイン総選挙
- ◆料金：無料
- ◆URL：https://jal.co.jp/jp/ja/121campaign/2021/haizai_art/index.html

以上